

Green Leaves



平成28年6月 スズエ・アンド・スズエビルに移転しました。

残暑お見舞い申し上げます。

処暑の候、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

4月14日から相次いで発生した熊本地震において被害にあわれました被災者の方々には、心よりお見舞い申し上げるとともに、犠牲になられた方々とご遺族の皆様には、深くお悔やみを申し上げます。

一日も早く日常生活に戻れますよう、心より祈念しております。

さて、当事務所は、既にお知らせさせていただきましたが、旧事務所からほど近い場所に移転し、新たな一歩を踏み出しました。新事務所におきましては、会議室を増設した他、多人数での打ち合わせにも対応できるよう、収容力・機動力を考慮した事務所設計を行いました。

お近くにお越しの際には、是非お立ち寄りくださいませ。

新事務所におきましても、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、何とぞお願い申し上げます。

本号は移設の節目にあたる発刊であることから、旧事務所でも過ごした、当事務所設立から移設までの15年間の足跡を、古川史高弁護士が回顧記としてまとめました。

また、今般、本事務所に入所する笹浪雅義弁護士より入所のご挨拶を、そして退所する高平めぐみ弁護士、阿部泰彦弁護士より退所のご挨拶を申し上げます。

東京グリーン法律事務所

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目12番9号 スズエ・アンド・スズエビル5階

TEL (03) 5501-3641 FAX (03) 5501-3648

<http://www.greenlaw.ne.jp>

2016/8

Vol.7

「東京グリーン法律事務所」の新たな出発

弁護士 古川史高

1 事務所の「引越し」



このたび、東京グリーン法律事務所は、「虎ノ門1丁目」に移転しました。私にとって、弁護士登録以来5カ所目の事務所となりました。吉祥寺（中村法律事務所）からスタートし、新橋（下平・古川法律事務所）—愛宕（古川史高法律事務所）—西新橋（東京グリーン法律事務所）と移転してきましたが、これまでの移転は、事務所の形態・事務所名が変化する新しい事務所としてスタートするものでしたが、今回の移転は、事務所の形態も事務所名も変わらない「事務所の引越し」に過ぎません。

しかし、私は、今回の移転は、「東京グリーン法律事務所」の新しい出発だと捉えています。

2 「共同事務所」設立に向けて

私が共同事務所の設立を目指したのは、21世紀を目前にした時でした。

- 1) 国際化・複雑化した社会に対応するには、一人や二人の従来型の事務所では対応できず、専門的分野の深化を含め、より大きな事務所に対応する必要がある。
- 2) 多様な相談に対応するには、隣接業を含めたワンストップ型の事務所を目指す必要がある。
- 3) 弁護士人口が増大するなかで、新しい人々を吸収していく事務所が必要となる。先輩が後輩を育成していく法曹界の良き伝統を維持・発展させることができる事務所を目指したい。

そのためには、法曹養成・弁護士会の会務に積極的に参加し、その参加を事務所全体で支えることが必要である。

3 「東京グリーン法律事務所」の設立

このような考えをもとに、江守英雄弁護士、川森憲一弁護士と協議を重ね、渥美三奈子・伊豆隆義両弁護士の協力を得て、2000年12月、西新橋に「東京グリーン法律事務所」を設立しました。

事務所は、顧問先の本社が移転したあとの役員フロアを、会議室をそのままに賃借して、弁護士9名（内パートナー5名）でのスタートでした。

当時、私は50歳、江守・川森弁護士も50歳（伊豆弁護士は、まだ40歳を過ぎたばかりでした）を越えていましたが、三人共とも弁護士としてのスタートは遅かったため、経済的に十分に余力があったわけではなく、ちょっと背伸びした精一杯のスタートでしたが、「働き盛り」の年令でもありましたので、自分達が描いた夢を実現する気力も体力も充分であったと思います。

4 東京グリーン法律事務所の15年

今日、設立から15年余りが過ぎましたが、弁護士の数も増加し、一時は20名近くになりました。勤務弁護士としての加入ばかりでなく、他の事務所で十分に経験を積んだ弁護士もパートナーとして加入してきて、事務所もどんどん活性化して参りました。

業務的には、それぞれ専門的な分野を深化させつつ、何人かでチームを組んで対応することも多く、共同事務所としての長所を十分に生かしてきていると思います。

ワンストップ型の事務所を直接には実現できませんでした。隣接業種である税理士、司法書士、行政書士、社会保険労務士とは定期的に勉強会を持って交流していますし、弁理士、不動産鑑定士とも電話一本で問題点を聞き合える関係を築いており、業務に十分に生かしております。

「法曹一元」「法曹養成」という点では、当初パートナーの江守弁護士が裁判官に任官するという途に進みまし、設立時メンバーの岩田修弁護士が司法研修所の民事弁護教官に就任して後輩の育成に当たっています。

このように、設立時の「夢」が少しずつではありますが、確実に実現してきたと思っております。

しかし、他方、設立時のパートナーの江守弁護士の退所、川森弁護士の逝去、設立時のパートナーの高齢化に直面しておりました。

このようななかで、15年にわたり使用してきた西新橋のビルに耐震性の問題があることがわかりました。東日本大震災を経験し、首都直下型や関東・東海・東南海等の大地震が迫っているといわれるなかで、事務所の安全性確保の点から、移転が急務となりました。

5 東京グリーン法律事務所の新たなスタート

これまでの事務所が、裁判所に近く、JR線や地下鉄の駅からも近く、大変便利などころにあったことや、虎ノ門周辺の再開発にともなう賃料の高騰などから、新しい事務所探しは難航しましたが、パートナーの多くが、情報収集や内見を重ねた結果、幸いにも旧事務所からほど近い、大変綺麗なビルに新事務所を借りることができました。

本格的な移転準備に入っても、新事務所の設計（会議室・執務室）や資金準備に、パートナーの工藤研弁護士を中心に、若いパートナーやアソシエイトの弁護士が協力してきました。

新しい事務所は、足りなかった会議室も増やし、執務室も大変使い易く、若いパートナーやアソシエイトが協力して創り上げた事務所です。

そして、ここに、新しいパートナーとして笹浪雅義弁護士が参加することになりました。

これまでと一味違った個性にあふれる新しい事務所として生まれ変わった姿を皆さんにお見せできると思っております。

新しい事務所に対し、皆様の一層の御支援を賜りますようお願いいたします。

入所のご挨拶



弁護士 笹浪雅義

このたび、縁あって東京グリーン法律事務所に合流させていただくことになりました。

弁護士になりたてのころ、先輩の弁護士から「弁護士というものは、事件で研かれる。依頼者から磨かれる。」といわれました。その当時は、あまりよく理解できていなかったかもしれ

ませんが、平成元年に弁護士登録をし、あつという間の28年、まだまだ未熟ながらも数々の事件を経験してきたなかで、先輩の言葉が心に沁みわたるようになりました。

この間、一般的な民事事件を中心に多くのご依頼を受け、建築・不動産、著作権、医療過誤事件、離婚・相続等の家事事件などを通して、これらの事件解決に必要な知識、理論、ノウハウを研ぐことができました。もともと理系が不得意だから弁護士を目指したようなところもある中で、例えば建築訴訟では、当初は難解な専門用語や数式ばかりでしたが、分かり易い専門書をご紹介いただき、建築士、建築業の方、結露の権威の大学教授、型枠のスペシャリストなど、多くの方々の協力を得て、事

件を解決することができました。

また、私は、これまでお客様との縁を大切にすることを心掛けてまいりました。

個別の事件を満足いただけるよう解決するのはもちろんですが、それだけにとどまらないお付き合いもさせていただいております。職種・経験の異なる様々な人生の先達から、色々な経験談や失敗談を聞かせていただく中で、少しは自分を磨けてきたのではないかと考えております。これからも、多くの方々とお話をさせていただきながら、今後の社会環境の変化に即応できるような広い視野を身につけて行きたいと考えております。

このたびの東京グリーン法律事務所への入所にあたって、弁護士になりたてのころの初心を思い出すとともに、これまでの経験のなかでの時々初心を忘れることなく、皆様と社会に役立つ弁護士を目指す所存です。

何卒、よろしくお願い申し上げます。

司法研修所 41 期・平成元年弁護士登録

東京弁護士会 中央大学卒

所属学会：民事訴訟法学会

資格：マンション管理士

役職等：

日本弁護士連合会常務理事

東京弁護士会監事

東京都弁護士協同組合専務理事（現職）

東京弁護士会 医療 ADR あっせん委員（現職）

退所のご挨拶



弁護士 高平めぐみ

平成 14 年 10 月に弁護士登録して以来、約 14 年に渡り東京グリーン法律事務所で執務してまいりましたが、夫の転勤に伴い、静岡県浜松市の法律事務所に移籍することとし、平成 28 年 7 月末をもって事務所を退所いたしました。東京グリー

ン法律事務所在籍中は、皆様方に大変お世話になり、誠にありがとうございました。弁護士になりたての頃は、突然「先生」と言われるようになり気恥ずかしかったことを思い出します。その頃の初々しさはすっかりどこかへいってしまいましたが、社会人経験もないまま弁護士になりましたので、弁護士の先生方のみならず、ご依頼者様などからもたくさんのお話をいただきました。慣れ親しんだ事務所、そして東京を離れることは本当に寂しい限りですが、初心に帰って頑張りたいと思います。今後とも、よろしくお願いいたします。

退所のご挨拶



弁護士 阿部泰彦

本年 3 月末をもちまして東京グリーン法律事務所を退所し、4 月に千代田区神田錦町に阿部総合法律事務所を開設致しました。在所中は皆様より格別のご厚情を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。東京グリーン法律事務所での 7 年半の間に

は、様々な事件に取り組みさせていただく経験と、本当に素晴らしい方々に会う機会に恵まれました。これらは私にとってかけがえのない財産となり、弁護士として、人間として成長してくうえで大きな契機となりました。今後はここで学んだことを基に、さらなる飛躍を目指して行く所存です。目標は、東京グリーン法律事務所のように、充実したメンバーが集まる事務所を自分の手で作り上げていくこと。期待を胸に、小舟一艘、大海に漕ぎ出したばかりですが、今後ともご愛顧お引き立て賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

近況報告



弁護士 古川 史高

あわただしい引っ越しでしたが、机とイスと周辺本箱等は、従来のものをそのまま持ち込んだせいか、新しい執務スペースの環境に初日からなじんで仕事しております。



弁護士 伊豆 隆義

この半年、不動産・建築案件は相変わらず、株主総会指導、株式市場への上場などの会社法務案件、不動産売買先取特権による物上代位での差押・債権回収も。原発損害賠償案件継続中(国賠も)。



弁護士 岩田 修

早いもので今年で弁護士20年目を迎えます。夏には京都で同期達と20周年パーティを行います。20年ぶりに会う人もいるので、今から楽しみです。ただ、会って誰だか分かるだろうか？



弁護士 梶浦 明裕

国交省のマンション標準管理規約改正に伴いコミュニティ条項絡みで先日講演をさせていただきました。管理組合が一定の催事に支出することは法的には「できる」のの一部誤解があるようです。



弁護士 酒井 由美子

6月から契約書のチェックなど、自宅での仕事を再開しています。0歳児の世話をしながらなので、本当に少しずつですが、家族の協力を得て、家にながらパソコンで仕事ができるのはありがたいです。



弁護士 川原 奈緒子

移転に合わせ、オフィスチェアを新調しました。試着ならぬ試座を繰り返し、自分の身体に合ったものを購入したところ、執務中の姿勢が矯正されたのか、疲労感が改善されたように思います。



弁護士 新森 圭

教育関係のとある雑誌から、判例評釈論文の執筆依頼をいただきました。が、あっという間に締切り目前に。この事務所報が皆様のお手元に届く頃には脱稿しているはずですが…



弁護士 古郡 賢大

最近は債権保全回収の事案も多く担当しています。先日は「不動産売買先取特権に基づく物上代位」という方法がお客様の売掛債権の回収に繋がりました。同方法については更に研究を進めたいと思います。



弁護士 渥美 三奈子

英国の国民投票によるEU離脱は、直接民主制下の主権者の権力を見せつけ、これを利用する者の出現を予想して怖くなりました。憲法改正国民投票手続を持つ我々には、他人事とは思えません。



弁護士 工藤 研

何故か事務所移転の担当者になってしまい、バタバタと大騒ぎの中で総務秘書Mさんに助けられながら、漸く引っ越すことができました。キレイになった新事務所、仕事はかどる？



弁護士 井崎 淳二

先日、某企業様のご依頼で、高齢者取引・成年後見制度の研修会講師をお引き受けしました。法制度の限界や取引現場で直面する問題など、私自身、改めて見直すことができ、勉強になりました。



弁護士 近森 章宏

先日デューデリジェンスに携わった会社の上場セレモニーに出席しましたが、他に数社のセレモニーもありました。実感は余りありませんが、少しずつ景気は上向いているのかなと思いました。



弁護士 堀田 和宏

新事務所の執務机に座ったとき、弁護士として働きたときのことをふと思い出しました。早いものであれから10年以上が経ちましたが、初心を忘れることなく、より一層の精進をと思い新たにしました。



弁護士 工藤 杏平

もうすぐリオ五輪が開幕しますが、つい最近ロンドン五輪が行われていた気がします。弁護士になってから時間が経つのが本当に早く感じます。一日一日、一つ一つの事件を大切にしたいと思います。

新入所弁護士紹介



弁護士 桧座 祐貴

今年1月に入所し、弁護士としての第一歩を踏み出しました。日々、研鑽を怠らず一つ一つのご相談・事件等に対して全力で取り組みたいと思います。よろしく願い致します。

事務局便り

職場環境が変わり、とても良い気分転換になりました。この機会にデスクの上をすっきりさせたので、この状態を維持しながら今後も効率的に仕事を進めていきたいです。(Y.K.)